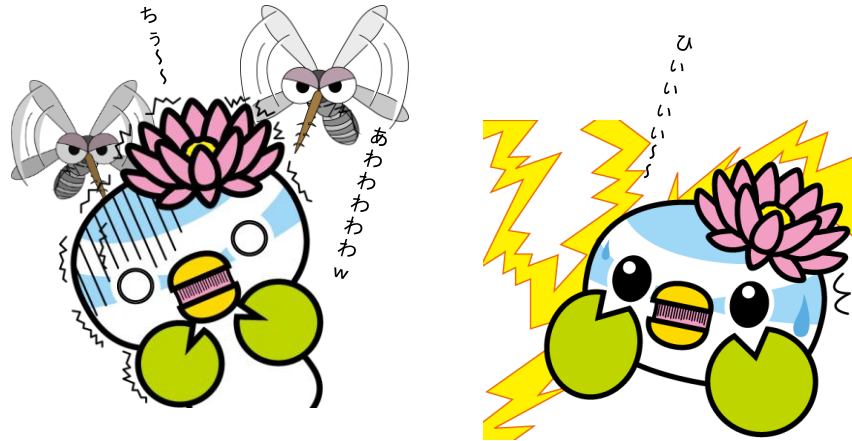


デング熱にご注意！

※蚊の防除対策は、
幼虫防除が効果的！



「蓮田市マスコットキャラクター『はすびい』」

デング熱とは・・・

主に東南アジア、南アジア、中南米で流行している感染症です。
日本では平成26年に約70年ぶりに国内感染が確認されており、今後も注意が必要となります。

デング熱の症状

デング熱は、デングウイルスを持っている蚊に刺された後、最大2～14日（通常3～7日）経過してから、以下のような症状を発症します。

- 急激な発熱（38℃以上）
- 発疹または皮膚の紅潮
- 骨関節痛
- 頭痛
- 嘔気または嘔吐

DANGER!!

『ヒトスジシマカ』（通称：ヤブ蚊）



蚊の種類

デング熱は、ウイルスを持った患者を刺した蚊が、その後に感染していない人を刺すことで拡がります。

日本では、デング熱を媒介する蚊は主にヒトスジシマカです。
ヒトスジシマカは北海道を除く日本のほとんどの地域に生息しており、背中への1本の白い筋が特徴です。

また、ヒトスジシマカはジカ熱を発症するジカウイルスも媒介します。



蚊の防除対策が重要！

蚊の防除対策

蚊の防除対策については、幼虫対策と成虫対策があります。ただし、成虫（蚊）は広範囲に飛散するため個別の防除は作業量が增大するのに対して、幼虫（ポウフラ）は水域に集中するため、効率的に防除できます。

幼虫防除対策の例

ヒトスジシマカは少量の水でも産卵し繁殖します。
たまり水がでやすい次のような場所に注意し、清潔な水の確保や殺虫剤の使用など、対策を講じましょう。

1. 汚水、雨水等の除去

- 古タイヤ、ビニールシート、屋外にあるじょうろ、空き缶、空き瓶、空きペットボトルなど
- 雨どい、側溝、雨水マス等のつまりの除去



2. 清潔な水の確保

なくせない水たまりは定期的に清掃や水の交換等を行い、ポウフラの発生を防ぎましょう。

- 庭の池、植木鉢の受け皿、水生生物の鉢や水槽
- ベットの飲み水用容器



3. 殺虫剤の散布

殺虫剤を散布する場合には、散布中である旨の表示などをする必要があります。

被害に遭わないために

デング熱やジカ熱は人から人へ直接感染することではなく、ウイルスをもった蚊に刺されることで感染します。
予防の基本は、蚊がいるところを避けること、蚊に刺されないようにすることです。

◇屋内では

網戸を設置し、しっかり閉めて蚊の侵入を防ぎましょう

◇屋外では

外出時や屋外活動の際には皮膚が露出しないよう、長袖シャツやズボンを着用しましょう
同様に、裸足でのサンダル履きを避けましょう

虫よけ剤を活用し、蚊を寄せ付けないようにしましょう

※虫よけ剤の小児への使用には注意が必要です。商品の資料等を参考にしてください。



お問い合わせ

蓮田市役所 みどり環境課 環境担当・公園緑地担当